



2日目ダイコンの間びき

【日時】

平成29年9月30日(土)10時30分から16時30分

1 開会及び本日のスケジュールの説明



かながわの農業の魅力や大切さを大発見する「かながわ農業発見隊員」として、今回は36名の皆さんが参加してくれました。



天候が心配されましたが、雨は降りませんでした。みんなの日頃の行いが良いということですね。

2 ダイコンのタネをまいた畑へ移動



秋の訪れを感じながら、畑までの道のりを歩きました。



全員、畑に到着。

3 間びき体験等

(1) 間びきのやり方の説明



いよいよ間びきです。大きくしっかりした苗を1本残し、他はすべて間びきます。



説明を真剣に聞く隊員たち。隊員の中から1人でも多く、農業に携わる方が現れてほしいなあ。

(2) 間びき体験



さあ！やってみましょう。



どれを抜いたらいいかな。



「大きく育て！」と願いを込めて間びきをしました。



親子ともども真剣なまなざしです。



地元の若い農業者(みどり会)のお兄さんが熱心に教えてくれます。



いちばん良さそうなのを残します。



間びいたダイコンは「おろぬきダイコン」と呼ばれ、炒めたり、おひたしや漬けものにするので、おいしく食べられます。



(3) 追肥体験



ダイコンの周りに肥料をまきます。



こちらは、肥料をまく機械です。肥料の入った袋を機械にセットし、ランドセルのように背負います。肥料は1袋の重さが20kgもあるそうです。



家族で仲良く肥料をまきます。苗を踏まないようにするためには家族のチームワークも大事だね。



4 隊員集合！！



上手に間びきができました。みんなで ハイポーズ！

5 現地見学会



午後からは現地見学会です。みんなでバスに乗り込み出発です！
バスの中では、三浦の方言について学びました。

(1)三戸小網代地区(ほ場整備実施地区)

こちらは、ほ場整備を実施した地区の見学です。

ここは山を削って谷を埋めて畑にした場所です。一つの畑の大きさは、サッカーグラウンドと同じ位の広さになります。



目の前に広大な畑が広がっています。



地区全体を図面で確認しています。



地区内の農道を歩いて見学しました。



地区全体の様子です。

(2)柳作地区(畑地かんがい施設)

次に、畑地かんがい施設の見学です。

三浦市には大きな川がないため、畑に水が必要なときはポンプで地下水をくみ上げ、給水栓からトラックに積んだタンクに水をため、畑に運んで、まいています。



この給水栓を使うと、タンクに水がすぐにたまります。



給水栓から水を出す前に、井戸やポンプについてのお勉強をしました。



給水栓から水を出してみましょう。



ホースをつかむと、水の圧力が伝わってきます。



みんな興味津々です。



家庭用の水道の10倍位の水が出ます。



こちらでは、ヘルメットをかぶり、測量用のボールを持って、記念撮影を行いました。





こちらの農道では、測量機器を使っでの測量体験を行いました。



望遠鏡をのぞき、職員が持っている標尺(スタッフ)の目盛りを読みます。これで、地盤の高さを測定することができます。



目盛りを読むことはできたかな。

6 閉会



皆さん、三浦半島の農地がどのように整備されてきたのか、理解が深まりましたか。次回は、11月11日に予定するダイコン収穫体験です。発見隊員のみなさま、お疲れさまでした。